

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月1日

事業所名 しあわせ駅 浦添

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		スペースは十分にあり、個々にフォーカスして支援している。	
	2	職員の配置数は適切である	6		児童人数に応じて職員数を配置している。	職員の人数は適切だと思う。経験の浅い職員もいるが、さらに良い支援ができるように努めていきたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		スロープや手すりもあり、段差をなくす工夫もしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		当日、送迎等で清掃の時間がない場合は翌朝に行なうなど気をつけてはいるが、さらに改善を重ね、子ども達が心地よく過ごせる環境をつくっていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		PDCAサイクルを取り入れたミーティングを行なうようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		定期的に評価を実施し参考に行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	ホームページにて公開している。	今後はお便りでのお知らせや新しい職員に対して周知徹底していきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		今後、検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		コロナ禍のため、研修への参加、開催の機会が少なかった。今後は、オンラインセミナーなども利用し研修の機会の確保をしていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		子どもや保護者のニーズを大切にし、児発管を中心に作成している。全職員把握に努めている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	個々に合わせたアセスメントツールを使用するようにしている。	今後も見直しを図っていく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		ガイドラインにそった支援内容を心がけており、また、常に本人にあった支援方法を設定するようにしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		計画は全職員が把握するよう努めており、支援する際も意識するようにしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	ミーティングをし立案を行なうようにしている。	全職員の意見が取り入れられるよう今後、工夫していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		同じような活動にならないようプログラム設定は気を付けている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	6		個々に合わせた集団活動、個別活動を組み合わせて計画を作成している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	ホワイトボード等を活用し1日の流れを確認し、役割分担も行なっている。	利用人数にもよるが、固定して児童をみると他の児童の対応が遅れてしまうので、今後、対策を練っていきたい。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		時間の関係もあり、当日に必ず打ち合わせができるとはいえない。申し送りノートや翌日の朝礼にて情報共有を行ない、支援の振り返りの時間を確保していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		記録をとることを徹底している。記録を参考に支援計画や評価の作成等も行なっている。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		モニタリングに参加し、見直しも行なっている。		
関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童の担当を決め、担当者会議に参加してもらっている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		できる限りの連携はとっている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	できる限りの連携はとっている。	今後、もっと連携を強化していきたい。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1	担当ナースとの連絡体制は整えている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		担当者会議などで行なっている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		担当者会議などで行なっている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	研修等があれば参加するようにしている。	今後、連携をもっと強化していきたい。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3		現在、行えていない。 コロナ終息後に検討していきたい。
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		現在、参加できていない。 情報収集し、今後参加の検討をしていきたい。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎の際や電話、連絡ノート等を活用し子どもの様子等を伝えるようにしている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	4		現在、きちんと行うことができていないが 今後、取り入れていきたい。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約の際に丁寧な説明を心がけている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		計画内容をきちんと説明し同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		相談があれば、対応している。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		現在は、行えていないが コロナ終息後に検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談や申し入れがあれば、出来る限り迅速な対応を心がけている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		毎月、お便りを通して発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	6		個人情報が入力されたプリントを配布する際には、中身が見えないファイルや封筒を活用し、廃棄の際には必ずシュレッダーにかけている。保管書類は、窓から見えないようキャビネット内にて保管している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		掲示物、LINE、連絡ノート等を活用している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		現在行なうことができていないが、 コロナ終息後には、検討していきたい。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアルを作成し訓練も実施するよう徹底している。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		定期的に実施できている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時に確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		保護者の指示で対応している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	その都度、ヒヤリハット報告書を記入するようにし、情報共有は行なっている。	今後、全事業所のヒヤリハットをまとめて事例集を作成する予定である。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	虐待防止資料等の読み合わせは定期的に行なっている。	全職員が研修に参加できるよう 今後、改善していきたい。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		現在、対象児童なし。 身体拘束を行なう際は他に代替案が本当でないのかを考え事前の説明、同意、計画に記載が必要なことを全職員、理解している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。